京都府教育委員会認定フリースクール
聖母の小さな学校
2025 年
4 月 7 日発行
1 学期始業式号 第 285 号

聖母の小さな学校 通信

さぁ、成長に向かって歩みを始めよう！

桜花爛漫として、心華やぐ春になりました。地中でこの時を待っておりました草木は、静かに芽を生い茂ってゆきます。私たちも不登校を通して必ず成長します。そして必ず社会に橋を架ける力を自ら育み、社会参加をします。今年も自分自身のプロセスを歩みましょう。自分自身の自立への道を作ってゆきましょう。

平素は、聖母の小さな学校の教育にご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。さて、昨年度 6 名の生徒がそれぞれ学校復帰したり、高等学校へ入学したりいたしました。そのうち夜間定時制高校へ進学、また復学した 2 名の生徒が、これまで通り聖母に籍を置きながら、高等学校に通いたいと言っております。社会参加の助走の時を支えたいと思います。そして今年度も、在籍生徒一人ひとりに合わせたカリキュラムを組んでゆきたいと思います。家から出にくかったり、生活のリズムが整わなかったり、人が怖かったり、人と話ができなかったり、家族とも顔を合わせられなかったり、不登校の状態は一人ひとり違います。違う一人ひとりがそれぞれ自分のプロセスを歩みます。その自分のプロセスの歩み方が、本人にも家族にも見えてくるよう本人に寄り添い、現実を共有したいと思います。現実を共有し、また、共感し、生徒の心の芽、行動の芽が出ることを手伝いたいと思います。心の芽は、表情にも声の調子にも、もちろん言葉にも、あらゆることに宿っています。その生徒の全てを受け止めてゆくこと、不登校の状態もそのままの姿を共に見て、共に安心したいと思います。そして、共に成長へのプロセスを歩みたいと思います。そのために、ご家族はもちろん、原籍校や教育委員会とも、生徒を真ん中に置いて連携してゆきます。特に原籍校とは、それぞれの場で生徒に寄り添った教育活動ができるよう、頻繁に連絡会を持ちたいと考えています。舞鶴市教育委員会とは、毎月「学校とフリースクールとの連携懇話会」を通して、不登校理解、また、支援の在り方を共有し、生徒の社会的自立に資する形を作ってゆきます。また、京都府教育委員会とは「市町教育委員会との連携推進にかかわって～学校以外の場での学びを原籍校の評価につなぐための学習評価会議～」を通して、全国に先駆けた生徒理解と不登校教育の在り方を共に示してゆきたいと思います。

生徒は不登校を通して成長します。保護者もまた、子供と向き合い、理解し合い、子どもと共に喜びをもって日常生活を作り上げてゆきます。希望を持って新しい年度を始めたいと思います。

今年度も、華道、陶芸、調理実習、園芸実習など様々な体験学習をいたします。年間行事も、五月祭（5/31）、サマーキャンプ（7 月末）、スポーツフェスタ（10/18）、親子バス遠足（11/23）、親子料理教室（12/6）、創立 30 周年記念企画「鯖街道を歩く」年 3 回、美術展見学＝モネ展、パウル・クレー展等、京都世界遺産見学、校外歴史学習など、大小色々な行事を組みます。また、日々の学習も充実してゆくことでしょう。

生徒が不登校という自分自身の成長のプロセスを生きるため、生徒と共に、丁寧な日々を過ごしてゆきたいと考えています。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

＜今年度、お世話になる先生方＞

陶芸（高井 晴美 先生）　体育（渡邊 弘　先生）　華道（山中 知昌 先生）
音楽（北浦 弘治 先生）　数学（江宮 文夫 先生）　歴史・校外学習（山下 正 先生）
ウズベキスタン文化（アシルベク先生）　英会話（藤原 キレン 先生）
校外学習（大久保 喜基 先生・笠原 昌明 先生）

＜今月の主な行事＞

7 日（月）1 学期始業式
10 日（木）華道教室
16 日（水）・23 日（水）陶芸教室
17 日（木）英会話教室
18 日（金）・25（金）数学
21 日（月）ギター教室
24 日（木）体育
28 日（月）ハイキング